

一般社団法人日本応用地質学会東北支部 第31回 研究発表会プログラム

開催日：令和7年8月1日（金）

会 場：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター

協 賛：東北地質調査業協会

開 会

10:00 開会

10:00～10:05 支部長挨拶

発表（午前の部）

10:05～10:25 カナダ・ガンフrint層(19億年前)における
浅部海底熱水活動とストロマトライト形成の関係
○飯島 颯大（応用地質株式会社）

10:25～10:45 高周波衝撃弾性波法を用いた転石形状調査の事例紹介
○菅原 瑠一（大日本ダイヤモンドコンサルタント株式会社）

10:45～11:05 地質技術者育成のための地質・地形実習の紹介（より深い地質学の理解に向けて）
○竹下 徹（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

11:05～11:25 吐噶喇列島，とくに宝島のネオテクトニクス
○遅沢 壮一（カワオソ分子生命地質研究所）

11:25～11:45 NUMO 文献調査の概要について
○坂東 雄一（原子力発電環境整備機構）

.....**.....**.....

11:45～13:00 (休 憩)

.....**.....**.....

特別講演

13:00～14:30 「アパタイト微量元素組成を用いた火砕流の対比

：東北地方の新第三系－第四系での検討例」

高嶋 礼詩 氏(東北大学 学術資源研究公開センター長、総合学術博物館長 教授)

.....**.....**.....

14:30～14:40

(休 憩)

.....**.....**.....

発表 (午後の部)

14:40～15:00 2025 年トカラ列島近海群発地震と 2000 年伊豆諸島群発地震

○遠田 晋次 (東北大学災害科学国際研究所)

15:00～15:20 仙台湾に分布する活断層の評価と連動可能性に関する考察

○鳥越 祐司 (東北電力株式会社)

15:20～15:40 断層幾何形状に着目した長大活断層の確率論的連動性評価手法の開発

：近年の横ずれ型大地震における妥当性の検証

○原 勇貴 (東北大学災害科学国際研究所)

15:40～16:00 荒砥沢地すべり周辺地域の災害地質の諸問題

－カルデラ構造の伏在とその噴出物の災害特性－

○高見 智之 (国際航業株式会社)

16:00～16:20 自然災害伝承碑のサバイバル (昭和三陸津波記念碑は如何に生き続けたか)

○橋本 修一 (株式会社東北開発コンサルタント)

総合討論

16:20～16:40

閉 会

16:40 閉会

16:40 副支部長挨拶